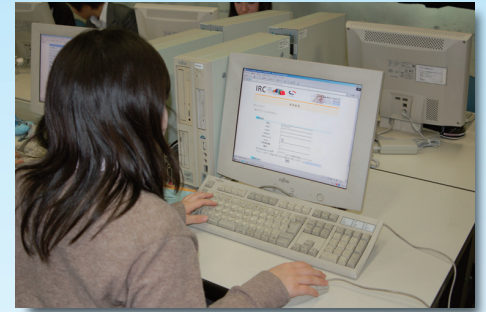


読書交流支援システムの開発と教育的利用実践

江波戸 慎 (中等部教諭)

テーマ

IRC (Interactive Reading Community)に投稿されたリアクション・レポートやコメントはネットを通しクラス内に公開され、中等部生はお互い書籍への内容理解を深める。さらに投稿に対して、二次的・三次的に意見を書くことで、自然と新しい様々な本の情報を共有するコミュニティが構築されるだろう。読書量の評価ツールとして、IRCでは投稿と記録・累積が連動し、リアルタイムで各種ランキングが反映され、参加者全体の動機づけを刺激する。洋書・和書いずれにおいても、従来の対面型の授業と、IRCは相乗効果をもたらし、これからの新しい読書モデルを提起することになるだろう。

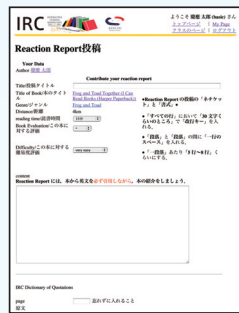


実施状況

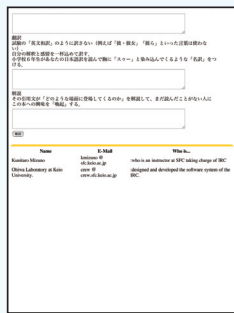
システム開発の領域では、プロジェクトチームは水野邦太郎氏(元慶應義塾非常勤講師・現福岡県立大准教授)が開発した旧IRCを、セキュリティを向上させ、システムの安定性を飛躍的に向上させることで中等部生用にカスタマイズし、さらに和書の機能を追加し、またAmazon.comとリンクすることで、書籍検索範囲を大きく広げることを実現した。教育的利用実践の領域では、11月下旬から3月までにかけて、通常の授業内および各家庭で実践できた。洋書では2年生全員を対象とした江波戸担当の英語の授業内で、和書では土橋担当の『日本近代文学演習』選択授業内で、登録を済ませ、各生徒が読んだ書籍についてのリアクション・レポートを、またクラス内でレポートへのコメントを投稿し合うことで交流を実現できた。冬休み以降も各家庭で多くの生徒が自主的に取り組んだ。



IRC トップページ



IRC リアクション・レポート



IRC 検索結果



成果

今年度は中等部版IRCへの取り組み初年度であり、IRCという新しいコミュニティをひとまず形成できたことが一番の成功だと確信している。これまでの読書交流では、時間や人数に限界があったが、そういった壁を乗り越え、無限大に広がる交流の輪を形成できたことは確実に生徒一人ひとりを感動させた。媒体の面でも、これまでは口頭や読書レポート等の紙媒体を通じた、聞き手や添削する教員との一方通行であった環境をダイナミックに変えることができた。具体的には、通常のHRクラスを超え、人為的に作り上げたグループを形成し、交流を場所・時間に関係なく可能にした。結果自然と家庭学習の活性化にもつながった。

ユーザーにとってIRCが便利だと感じる大きな点は、Amazonとのリンクをはじめ、充実した図書を検索機能を利用し、各自のレベルや興味にあった本を選ぶことができる点である。しかもリアクション・レポートやコメントの投稿をお互い閲覧できることで、図書を選ぶ際に、有効的判断材料にすることができる。IRCを通して読書量が飛躍的に伸びたが、その裏には、リーディング・マラソン等各種ランキング機能があり、読書への動機付け促す一翼を担っている。以上IT技術の進歩を目の当たりにでき、実感させられた生徒も多く、熱中して取り組んでいる生徒が一定数いることが分かった。特に洋書については、これまでの多読指導とも連動し、拒絶症の生徒はほとんどいなくなった。共感を得ている生徒は定期的な読書習慣が付き、かつネット上にアップされることを意識することで、読んだ本の内容を深く考え、さらにコミュニティの仲間を意識することで丁寧にレポートを書いている。

今後の展望

- システム上のバグを随時解消する。
- 必要な機能を追加したバージョンアップをする。
- ページデザインやマイページを、子供たちの興味関心をひくようなデザインに改良する。
- 読書の輪を中等部全体に、可能であれば、塾内の他の一貫教育校にも広げていく。
- 慶應義塾中等部紀要VERITAS XVで研究発表をしたが、今後も機会があれば各種研究会で発表していく。

利用者の声 IRC洋書調査結果抜粋 ※対象2年生全員(自由回答)複数回答のみ掲載 ※A-FはHRクラスを表す

IRCのすばらしいところ	第1回目調査(12月)						第2回目調査(3月)					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
他の人のレポートを読み、本を選ぶ参考になる。どんな本かわかる。本の見方が変わった	8	7	11	13	12	2	5	4	8	5	2	1
読書交流(交流)が自分(友人)の人とできる。共感できる。回読生とできることが良い	6	6	4	5	10	3	2	1	3	1	1	3
他の人が読んだ本の感想を読むのが素晴らしい。考え方や人柄がわかった	4	5	7	9	7	4	3	1	9	6	4	1
面白かった。楽しかった。ゲームみたいだった	3	5	4	2	5	2	1	2	2	3	2	1
リーディング・マラソンが面白い。達成感。目標に達する。目標をもてる。ランキング上位者	2	1	4	7	3	2	3	2	6	6	2	1
これからはもっとIRCを活用したい(やりたい)	2	4	2	6	3	2	4	1	3	4	1	7
スケジュールが大きい。仕組みがすごい。定期的、新鮮。IRCに寄りかかると	1	4	3	1	1	6	2	1	1	1	1	5
良い方が多量。わかりやすい	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	2
英語の本に興味が出てきた。読みたい。読書量の底上げになる	1	1	1	3	4	9	2	2	1	2	1	9
英語の本をよむ機会が増えて良い。読書量の底上げになる	1	2	4	1	1	9	4	3	1	2	1	10
誰が何の本を読んでいるかわかる	1	4	3	1	1	7	1	1	1	2	3	3
自分から読めることができる	1	2	1	1	2	7	1	2	1	1	1	3
気持ちに寄りかかると、気持ちに他の人の感想を読む	1	2	1	1	2	7	1	1	1	1	1	3
感想を書き込めるのが面白い	1	2	1	1	3	6	1	1	1	1	1	1
他の人の感想にコメントすることができて、コメントをもらえるのがすごい	1	1	3	1	1	6	3	1	1	1	1	3
インターネットパソコンが利用できる。楽しい	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	6
プロフィール(My Page)が楽しめる。フェイスブックメンバー機能がよい	1	1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	3
安全安心	1	1	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0
パソコンで文字を打つ方が鉛筆で書くより速いから便利	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1
人に読まれるのにちょっと緊張する	1	1	5	1	1	6	1	1	1	1	1	1
家でできるのがよい	1	1	1	2	3	3	1	1	1	1	1	1
他人のリーディングメモを読むことでこれまでできなかったこと、IRCになってほしい	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2
たくさん(全国)の人、全国の学校がやると面白くなる	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3
本の感想が読める。読書量が増えていく感じがよい。好きな本が見つかる。本の写真	1	4	1	1	1	6	1	2	1	1	1	6
感想・引用・和訳の読めが好きな人と読めるようになる	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3

改善要求コメント	第1回目調査(12月)						第2回目調査(3月)					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
いちいちパソコンをつづるのが面倒。打ち込みになっていない。慣れていけば楽	1	1	2	2	1	7	1	1	1	1	1	1
システムのトラブルが頻発	1	1	2	4	1	7	1	1	1	1	1	1
少し面倒。手順がかかる。もう少しわかりやすく	1	1	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1
検索機能をもっと充実してほしい(アイコンも多め)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リアクションレポートが難しい。時間不足だった	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1
個人名を出すのは少し怖い	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0
和書も一緒にできるとうい	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
クラスをこえたやりとりができるように	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
引用とその和訳が大きい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
全体のデザインやアイコンのデザインや機能をもっとよく。ゲーム感覚を	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
検索機能を充実させてほしい(アイコンも多め)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
検索機能に近しい感じにしてほしい(アイコンも多め)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
おもしろい・人気のある本(ランキングとは別)をその人が読んだおもしろい本も	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
どんな本かわかるようにしてほしい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
各書の内容(対象の本)の種類を増やしてほしい。ヒットしない本がある	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リアクションレポートやコメントの更新を早く	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1